

第 57 回 通常総会 開催

当協会第 57 回通常総会が去る 5 月 19 日、KKR ホテル東京において開催された。福島会長があいさつ（後掲）を行った後、議長に就任して審議が行われた結果、上程された各議案はすべて原案通り承認された。

第 1 号議案『令和 6 年度業務報告、収支決算報告及び監査報告』では、(1) 東京港における輸入貨物の取扱数量は 1,982 千トン（検査・重量ベース）、前年度比 13.9% の増加であった。本船貨物では、果実の主力であるバナナが前年度比 6.5% の減少、パイナップルは 9.6% の減少、キウイフルーツは 42.2% の増加だった。かんきつ類はトルコ産が 1 船 111 千 CT 輸入された。本船コムギは 29.7% の増加となった。一方、コンテナ貨物は、10,261 本増加し、78,063 本だった。こく類は、コメが 1,763 本増加、モルトが 1,166 本増加、オオムギ 160 本増加、ソバ 110 本増加し、全体で 3,261 本増加した。まめ類は、ダイズが 269 本増加し、全体で 343 本増加した。乾牧草は、チモシーヘイ 680 本増加、アルファルファヘイ 395 本増加で、全体で 1,303 本増加した。野菜類は、キャベツが 1,606 本増加、タマネギ 505 本増加、ハクサイ 201 本増加、ナガネギ 188 本増加、カボチャ 142 本増加で、全体で 3,199 本増加した。果実は、バナナが 1,117 本増加、オレンジ 155 本増加、パイナップル 130 本増加、リンゴ 127 本増加、グレープフルーツが 187 本減少で、全体で 1,621 本増加した。横浜港からの荷受消毒立会件数が 41 件減少し 354 件であった。輸出用木材こん包材消毒証明件数は 1,563 件で、前年から 69 件増加した。(2) 令和 5 年度第 2 回理事会の決議に基づき、賦課金・立会料の減額率を 10% にした。本年度の同収入は 16,933 万円（減額の金額 1,846 万円）と前年度比 12.4% 増となり、見込みより 12.2% ほど上回った。(3) 広報活動は、定期的に配信される当協会の「東京植検だより」や植物防疫所、全植検協の機関紙をはじめ、関連のポスターやパンフレットなどを配布したほか、様々な検疫情報、現場情報をホームページ等により広く関係者に提供した。また、日頃各地から寄せられる問い合わせ、相談などに適切に対応するなど東京港における植物検疫業務等が円滑、的確、かつ安全に推進されるよう努めた。(4) 関係当局及び諸団体との連絡・協調を図り、特に全植検協については、福島会長が理事・副会長として、また事務局においても各種委員として、同協会の運営に協力した。また、農水省植物防疫課も参加する「植物検疫関係団体連絡会」において検疫現場の状況を報告し、問題点を提起するとともに、検疫情報を直接入手した。さらに、近在協会とも

定期的に連絡会を開き、意見・情報交換などに努めた。

第 2 号議案『令和 7 年度事業計画（案）及び収支予算（案）』については、(1) 新年度の事業計画として、円滑な受検業務や広報活動など従来からの基本事業を引き続き推進することと、賦課金等の 10% 減額請求を継続すること、見直される輸入植物検疫制度の随時の改訂に対し、的確に対応すること、各業務を基本に忠実に実行すること(2) 収支予算については賦課金等の減額請求を継続することで、2,270 万円の赤字とする新年度予算を提案し承認された。

福島会長あいさつ

本日は、会員の皆様方にはお忙しい中、東京植物検疫協会第 57 回通常総会にご出席頂きまして有り難うございます。

また、本日はご多忙の中、農林水産省横浜植物防疫所の森田所長様、同じく横浜植物防疫所東京支所の村井支所長様にご来賓としてご臨席いただいております。どうもありがとうございます。後ほど森田所長様にはご挨拶をお願いしております。どうぞよろしくお願いいたします。

これまで円滑に業務を遂行することができていることについては、ひとえに関係ご当局のご指導、会員各位のご協力の賜物と感謝申し上げます。役職員一同あらためまして心を引き締めて適切に業務を運営していく所存です。

本日は、先にご案内申し上げましたとおり、2 つの議案、すなわち、(1) 令和 6 年度業務報告、収支決算報告及び監査報告、(2) 令和 7 年度事業計画（案）、収支予算（案）を提案しております。後ほど詳しく説明がありますが、簡潔に内容を紹介いたしますと、令和 6 年度の当協会の貨物の取り扱い状況は、前年度に比べて増加しました。

特にコンテナ貨物については、国産野菜の不作やコメの流通の問題等から取扱い本数は昨年より約 10,300 本ほど多い 7 万 8 千本ほどとなりました。

このため、賦課金・立会料の収入については、前年度比 12.4% の増加となっております。支出については節約に努めたこともあり、昨年総会で承認された予算収支より 3 千万円ほどの黒字となりました。

令和 7 年度事業計画及び予算（案）につきましては、現在の事業を引き続き実施するとともに、賦課金・立会料の減額請求措置を継続します。本年 4 月の臨時理事会における決議に基づきその減額率を引き続き 10% とすることを提案しております。

以上、宜しくご審議のほど、お願い致します。

森田横浜植物防疫所長あいさつ



皆様には日頃から植物検疫行政の円滑な実施と推進にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

この機会に植物防疫所の業務状況を紹介させていただきます。

令和 6 年（2024 年）の全国における数量ベースの輸出入検査実績は、輸入貨物では、全体的には前年に比べておおむね横ばいでしたが、栽植用球根類（89%）、木材（87%）ではやや減少しました。

一方、輸出では、前年と比べて栽植用球根（158%）、生果実（114%）、まめ類（194%）、嗜好香辛料・薬染料・その他食品（128%）、油料・肥飼料・その他雑品類（119%）が増加した一方、栽植用植物（81%）、切花（80%）、野菜（90%）は減少、これら以外の栽植用種子、こく類、木材はほぼ横ばいでした。

また、東京港での輸入貨物については、野菜（111%）、こく類（120%）、木材（134%）で増加、栽植用植物（82%）、嗜好香辛料・薬染料・その他食品（90%）で減少、その他はほぼ横ばいでした。

次に、最近の植物検疫に関する動向をいくつか紹介させていただきます。

【電子植物検疫証明書（ePhyto）】まずは電子植物検疫証明書（ePhyto）について触れさせていただきます。

国際植物防疫条約（IPPC）事務局において、多国間で ePhyto を交換するための中継システムが開発され、2018（平成 30）年 6 月から運用が開始されています。運用開始から既に 7 年弱経過し、本年 3 月現在で 95 か国以上がこの ePhyto を利用できる状況になっていますが、ご承知のとおり我が国では現在まで利用ができない状況がありました。

このたび、農林水産省内及び財務省等に対して ePhyto の導入効果等を継続して説明してきた結果、本年 10 月予定の NACCS の大規模更改にあわせ、我が国でも ePhyto の利用を開始することに一定の目途がつきましたので、お知らせさせていただきます。

また、会員の皆様を含めた輸出入者向けの「ePhyto 説明会」を本年 7 月から 9 月までの間に設ける予定とされており、日程が決まり次第、植物防疫所ホームページなどでご案内させていただきます。

【輸入検疫】輸入植物検疫においては、病害虫リスクアナリシスの結果に基づき、平成 23 年以降、順次、輸入検疫の対象となる検疫有害動植物と輸入植物検疫措置の見直しを行っているところです。

直近の第 11 次改正では、特に我が国への侵入を警戒しているウリミバエの発生地域にオマーンを加えるなど、

既存の検疫有害動植物 18 種について植物検疫措置を見直すこと、また、主にぶどうを宿主とする 4 種のウイルス・ウイロイドを非検疫有害動植物として追加するなどの改正が予定されており、現在は、関係規則の改正に必要な植物防疫検討会、パブリックコメント等の所要の手続きを終えた段階にあります。令和 7 年 6 月に公布、12 月に施行予定となっています。

条件付き輸入解禁植物に関しては、昨年 6 月に台湾産ヒロセレウス属生果実の種の追加、7 月にオーストラリア産ヨーロッパぶどう生果実の品種制限撤廃、9 月にブラジル産ハス種のアボカド生果実の輸入解禁、11 月にフィリピン産ハス種のアボカド生果実の輸入解禁が行われました。

また、本年 1 月に開催された植物防疫検討会では、インドネシア産マンゴウ生果実とメキシコ産パプリカ生果実に対するリスク管理措置について議論が行われました。

【輸出検疫】輸出検疫関係では、輸出者からのニーズに迅速に対応するため令和 5 年度からリモート検査を導入しています。これまでは小麦粉、赤玉土などを対象に実施してきましたが、昨年は凍結品、製材などを新たに対象品目として追加しました。今後ともより多くの方にご利用いただくように努めてまいります。

また、昨年 12 月にフィリピン向けいちご生果実の輸出が解禁され、本年 2 月に初輸出されたところです。横浜植物防疫所管内での同国向けのいちご生果実の輸出については、週 1 回程度のペースで継続されていると聞いています。

令和 5 年度から導入されました輸出検査の一部を植物防疫所に代わって実施することができる登録検査機関は、本年 4 月末現在で 13 機関が登録されており、昨年度では（株）JAL カーゴ及び（一社）神戸植物検疫協会が新たに登録されました。植物防疫所では登録検査機関認定のための審査や、適正に業務が行われていることの確認を適切に実施してまいります。

【国内検疫】令和 6 年度においても、海外からの飛来と推定されるミカンコミバエ種群の誘殺事例が、沖縄県、鹿児島県、熊本県、長崎県において確認され、鹿児島県においては、アリモドキゾウムシの誘殺事例もありました。

いずれも、関係者の協力の下、トラップの増設、防除資材（テックス板）の設置や寄主植物の廃棄等、定着に繋がらないよう初動対策を講じています。

一方で、令和 6 年 3 月に沖縄県本島において確認されたセグロウリミバエについては、各機関と連携して各種対応をしてきたところですが、まん延防止のために令和 7 年 4 月 14 日から沖縄本島を対象に緊急防除を開始しました。

その他、北海道で発生が確認されているジャガイモシ

ロシストセンチュウ、長野県で発生が確認されているテンサイシストセンチュウについては、令和7年度も引き続き緊急防除を実施しています。テンサイシストセンチュウは山梨県でも確認されていますので、発生範囲の特定調査や防除を実施しているところです。いずれも関係者と一丸となって取組をしっかりと進めてまいりたいと考えています。

以上、簡単に業務概況と最近の動向をご説明させていただきましたが、結びに東京植物検疫協会及び会員各社、皆様方の益々のご発展をお祈りするとともに、植物検疫への一層のご理解とご協力をお願いして挨拶いたします。

📌 タイム eye 📌

業務グループ ベトナム産芝(ZOYSIA) 苗初輸入

令和7年5月、SITC FANGCHENG 号により、ベトナム産芝苗(ZOYSIA)が東京港に初輸入された。日本における芝苗の主な輸入元はアメリカ合衆国、オーストラリア、中国、ニュージーランドであるが、ベトナムからの海上輸入は全国的にも珍しい。

芝生は、スポーツ施設、公園、校庭、住宅の庭など、

幅広い用途に対応する。特に日当たりの良い場所では、その緑が美しい景観を演出する。

芝生の導入手法には、大きく分けて「ソッド(切り芝)」によるものと「種子・苗」によるものがある。ソッドは施工直後から景観効果が得られ、雑草抑制にも効果を発揮するが、コストが高く施工手間もかかる。種子・苗は費用を抑えつつ広範囲に展開でき、DIYにも適しているが、発芽までに時間を要し、発芽率や管理に課題がある。

今回輸入されたベトナム産芝苗は、主にゴルフ場のグリーンに使用されることを想定しているとのことである。日本のゴルフ場ではこれまで高麗芝や姫高麗芝が主流だったが、ベトナム産の芝はそれらとは全く異なり、極細の葉、均一で鮮やかな発色、高密度な芝質を特徴としており、景観の美しさやプレイのしやすさの面で高い評価を得ている。熱帯～亜熱帯気候であるベトナムで育成されているため、近年の猛暑が続く日本の夏にも耐える強さが期待される。

(業務グループ 田地 龍之)

東京植物検疫協会事務局人事

○7月1日付

職員採用 岡 辰男 (総務グループ参与)

会 員 ・ 役 員 の 異 動 (令和7年4月1日～令和7年6月30日)

☆入会会員

4月1日	(有) 渡辺マッシュルームハウス [商社]	〒289-2602 千葉県旭市岩井929	☎ 0479 (55) 5078
4月7日	(株) パ ド マ [商社]	〒341-0012 埼玉県三郷市半田263	☎ 048 (950) 5050
4月24日	(株) コールドプレシャライズジャパン [商社]	〒169-0051 新宿区西早稲田3-30-16	☎ 03 (6273) 8088
5月23日	コープトレーディング(株) [商社]	〒063-8501 札幌市西区発寒11条5-10-1	☎ 011 (671) 5797
6月1日	咲花商事(株) [商社]	〒160-0023 新宿区西新宿6-12-16	☎ 050 (3528) 0300
6月2日	湯浅バイオ九州(株) [商社]	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-4-4	☎ 092 (409) 5180
6月3日	(株) 泰東通商 [商社]	〒101-0021 千代田区外神田6-15-11	☎ 03 (5826) 4038
6月6日	江原運輸(株) [運輸]	〒231-0801 横浜市中区新山下3-1-20	☎ 045 (622) 1183
6月6日	(株) ジェイエイ・トランスアグリビジネス [商社]	〒251-0038 神奈川県藤沢市鵠沼松が岡1-5-18	☎ 0463 (86) 6231
6月17日	(株) R O O T S [商社]	〒160-0023 新宿区西新宿1-20-3	☎ 080 (9806) 9876

☆社名変更

4月1日	ファーストシーダーズ(株) ← 椿 食 品 (株)
6月2日	豊通アグリフーズ(株) ← 三井物産アグリフーズ(株)

☆退会会員

4月7日	一 嘉(株)、(株) 向山蘭園
4月8日	(株) 新井清太郎商店
5月12日	(株) 中東貿易

☆交代役員

4月1日	理事	出塚 美紀	丸 紅 株式会社 (前任者: 吉岡 佳裕)
	理事	米田 禎	伊藤忠商事株式会社 (前任者: 都築 貴将)
	理事	升岡 裕善	住友商事株式会社 (前任者: 河野 達也)
	理事	穴戸 浩	日東富士製粉 株式会社 (前任者: 江守 亮)
6月1日	理事	鈴木 孝幸	日本通運株式会社 (前任者: 三島 哲也)
6月25日	理事	山川 実	株式会社ダイソーコーポレーション (前任者: 北條 雅人)

東京港輸入植物品目別統計表

(令和7年1～6月累計)

品 目	単 位	コ ン テ ナ 詰			在 来 船 積		合 計	
		本 数	検 査 数 量	不 合 格 数 量	検 査 数 量	不 合 格 数 量	検 査 数 量	不 合 格 数 量
栽植用植物	個	41	154,750,615	7,263	0	0	154,750,615	7,263
栽植用球根類	個	35	7,610,070	0	0	0	7,610,070	0
アマリリス	〃	0	0	0	0	0	0	0
チューリップ	〃	0	0	0	0	0	0	0
ユリ	〃	34	7,208,020	0	0	0	7,208,020	0
栽植用種子	kg	231	3,068,715	1,000	0	0	3,068,715	1,000
草花・樹木	〃	1	10,498	0	0	0	10,498	0
野菜	〃	90	633,858	1,000	0	0	633,858	1,000
普通・特用作物	〃	53	866,376	0	0	0	866,376	0
牧草・芝草	〃	69	1,376,933	0	0	0	1,376,933	0
切花、切葉、切枝	個	1,212	170,457,433	2,355,462	0	0	170,457,433	2,355,462
アンズリューム	〃	0	0	0	0	0	0	0
オンシジューム	〃	43	1,692,720	101,130	0	0	1,692,720	101,130
キク	〃	730	76,098,307	0	0	0	76,098,307	0
シダ(レザーフアン)	〃	62	10,397,460	0	0	0	10,397,460	0
果 実	kg	4,999	85,874,648	3,059,684	153,803,473	109,353,676	239,678,121	112,413,360
オレンジ	〃	576	11,437,271	38,447	110,520	0	11,547,791	38,447
グレープフルーツ	〃	100	1,773,818	0	574,134	246,374	2,347,952	246,374
タンジェロ(ミネオラ)	〃	174	3,371,507	0	0	0	3,371,507	0
レモン	〃	417	5,574,178	17,442	381,744	0	5,955,922	17,442
パイナップル	〃	651	9,698,728	1,238,180	11,907,034	9,421,863	21,605,762	10,660,043
バナナ	〃	1,463	25,326,194	1,711,750	116,993,687	99,355,063	142,319,881	101,066,813
マンゴウ	〃	20	117,508	0	0	0	117,508	0
キーウイフルーツ	〃	325	5,604,281	0	20,958,693	330,376	26,562,974	330,376
ブドウ	〃	10	138,640	0	0	0	138,640	0
野 菜	kg	9,948	200,828,296	729,463	3,864	0	200,832,160	729,463
カボチャ	〃	452	10,584,258	387,000	0	0	10,584,258	387,000
サヤエンドウ(キヌサヤ)	〃	11	67,739	0	0	0	67,739	0
パプリカ	〃	31	257,695	0	0	0	257,695	0
メロン(ハミウリ含む)	〃	11	209,142	0	0	0	209,142	0
キャベツ	〃	1,798	35,381,510	56,790	0	0	35,381,510	56,790
セロリ	〃	5	84,146	14,515	0	0	84,146	14,515
ナガネギ	〃	1,123	16,500,720	14,000	0	0	16,500,720	14,000
ニンニクの芽	〃	19	696,078	0	0	0	696,078	0
ハクサイ	〃	337	6,489,040	132,120	0	0	6,489,040	132,120
ブロッコリー	〃	50	595,000	0	0	0	595,000	0
レタス	〃	256	2,938,818	47,240	0	0	2,938,818	47,240
タマネギ	〃	2,693	66,358,820	49,600	0	0	66,358,820	49,600
ニンニク	〃	328	6,083,045	0	0	0	6,083,045	0
アスパラガス	〃	0	0	0	0	0	0	0
ゴボウ	〃	144	3,898,690	0	0	0	3,898,690	0
サトイモ	〃	20	371,590	0	0	0	371,590	0
ショウガ	〃	255	5,664,838	24,640	0	0	5,664,838	24,640
ニンジン	〃	891	22,763,230	0	0	0	22,763,230	0
こく類	kg	6,764	143,782,845	4,580	66,922,480	0	210,705,325	4,580
オオムギ	〃	150	3,306,803	0	0	0	3,306,803	0
エンバク	〃	227	5,113,696	0	0	0	5,113,696	0
コムギ	〃	118	2,220,440	0	66,922,480	0	69,142,920	0
コメ	〃	2,662	54,838,790	4,520	0	0	54,838,790	4,520
ソバ	〃	154	3,148,833	0	0	0	3,148,833	0
トウモロコシ	〃	207	3,812,752	0	0	0	3,812,752	0
モルト	〃	3,194	70,339,421	0	0	0	70,339,421	0
まめ類	kg	4,639	92,947,959	120	0	0	92,947,959	120
エンドウ	〃	24	494,274	0	0	0	494,274	0
ダイズ	〃	4,343	86,989,923	120	0	0	86,989,923	120
ラッカセイ	〃	143	3,107,764	0	0	0	3,107,764	0
嗜好香辛、薬染料、その他食品	kg	2,625	42,377,291	3,200	0	0	42,377,291	3,200
カカオ	〃	8	4,474	0	0	0	4,474	0
コーヒー	〃	79	1,141,000	0	0	0	1,141,000	0
タバコ	〃	421	7,785,020	0	0	0	7,785,020	0
アーモンド	〃	815	14,532,810	0	0	0	14,532,810	0
クリ	〃	6	85,110	0	0	0	85,110	0
クルミ	〃	387	6,769,941	3,200	0	0	6,769,941	3,200
ポップコーン	〃	201	4,033,968	0	0	0	4,033,968	0
油料、肥飼料、その他雑品	kg	14,417	330,689,305	0	0	0	330,689,305	0
乾燥牧草(ヘイ)	〃	10,782	252,562,914	0	0	0	252,562,914	0
アニマルフィード	〃	12	136,407	0	0	0	136,407	0
アルファルファヘイキューブ・ペレット	〃	644	16,137,789	0	0	0	16,137,789	0
コーンコブミール	〃	20	468,436	0	0	0	468,436	0
飼料用大豆カス、ペレット	〃	291	7,056,186	0	0	0	7,056,186	0
ビートパルプペレット	〃	58	1,267,092	0	0	0	1,267,092	0
イネワラ	〃	117	2,003,912	0	0	0	2,003,912	0
ココピート	〃	309	5,923,238	0	0	0	5,923,238	0
ココヤシ園芸資材	〃	13	279,669	0	0	0	279,669	0
ビートモス	〃	863	19,572,068	0	0	0	19,572,068	0
ミズゴケ	〃	26	47,060	0	0	0	47,060	0
タケ	〃	34	490,092	0	0	0	490,092	0
木 材	m3	0	0	0	0	0	0	0
＊ ＊ 総 合 計 ＊ ＊	kg	43,623	899,569,059	3,798,047	220,729,817	109,353,676	1,120,298,876	113,151,723
	個	1,288	332,818,118	2,362,725	0	0	332,818,118	2,362,725
	m3	0	0	0	0	0	0	0

(注) 主要品目のみ掲載。携帯品、郵便物及び他港からの荷受分は含まない。